



仁王門 (国宝)
重層入母屋造り、棟の高さ20.3mの日本屈指の山門。松材の寄木造り、高さ5.1mの仁王像（重文）が安置されています。

本堂（蔵王堂）北側に位置する入母屋造の壮大な門です。2階建てで、1階と2階の境目にも屋根の出を有する、本瓦葺きの二重門です。本堂が南を正面とするのに対し、仁王門は北が正面。これは、熊野（南）から吉野（北）へ向かう巡礼者と、吉野（北）から熊野（南）へ向かう巡礼者、両者に配慮して互いに背を向けるように建っているのだといいます。

門の左右に安置された高さ約5mの金剛力士（仁王）像は重要文化財。延元3年（1339）、南都大仏師康成の作です。このことから仁王門は延元3年頃の南北朝時代の再建とされています。



日本で二番目の大きさを誇る
重要文化財 金剛力士像
左：吽形像 右：阿形像
高さ5m



金峯山寺本堂：蔵王堂

金峯山（きんぷせん）とは、奈良県の吉野山から山上ヶ岳（大峰山）に至る一帯を指し、古く飛鳥時代から聖地として知られていました。白鳳年間（7世紀後半）、修験道を始めた役行者（えんのぎょうじゃ）は、この金峯山で修行され、山上ヶ岳において、人々を迷いや苦しみから救い、悟りの世界に導くために金剛蔵王権現を祈り出されます。そして、そのお姿を山桜の木に彫刻し、山上ヶ岳と吉野山にお堂を建ててお祀りされました。これが山上山下の蔵王堂の起りであり、金峯山寺の始まりです。

山号は国軸山。日本国の中心軸に位置する寺という意味です。以来今日まで、金峯山は、修験道の中心的な道場として、多くの修行者、宗教者が宗派を超えて入山修行しています。まさに、自然を敬い、神様も、仏様も大切にする日本の心の原点が残っており、その精神文化は、今もしっかりと生き続けています。また、役行者が蔵王権現のお姿を山桜の木に彫刻したことから、吉野山では山桜がご神木として保護、献木され、日本一の桜の名所となりました。

現在の金峯山寺は、金峯山修験本宗の総本山であり、多くの僧侶、修験者が日々、厳しい修行を続けています。金峯山寺を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は、その「文化的景観」の価値が認められ、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。

総本山 金峯山寺 国宝仁王門大修理事務局

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町2498番地
電話 0746-32-8371 / FAX 0746-32-4563
<http://www.kinpusen.or.jp>

世界遺産
国軸山 金峯山寺

国宝仁王門 大修理 ご支援のお願い

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理します
ので、金額を記入する際は、枠内
にはきりと記入してください。
また、本票を折したり、折り曲げ
たりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は
郵便局の払込機能付きATMでも
ご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は
郵便局の渉外員にお預けになる
ときは、引換えに預り証を必ずお
受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただき
ました払込書に記載されたおとこ
ろ、おなまえ等は、加入者様に通
知されます。
・この受領証は、払込みの証拠と
なるものですから大切に保管して
ください。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

金峯山寺 国宝仁王門大修理勧進ご寄付のお願い

金峯山寺の国宝仁王門は、当山伽藍のうち、もともと古く、南北朝時代に建立されたと伝わるもので、険峻な山岳地に建つ楼門として日本を代表する巨大木造建造物とされています。さらに門内に安置する仁王像は国の重要文化財の指定を受け、奈良東大寺の仁王像に次ぐ大きさを誇る記念碑的大作であります。

その仁王門は七百年にわたる星霜の間、南北朝騒乱の戦火にも耐え、太閤秀吉の吉野大茶会を始めとする数多くの歴史の舞台になり、幾多の武将、俳聖芭蕉などの著名な文人墨客を見守ってきたのです。そして何よりも、この門をくぐって大峯の山々に分け入るたくさん人の修験道の修行者を迎え、修験の聖地と日本のこころを守り伝えてきたのです。このことにより平成十六年には、

「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録資産として、ユネスコ世界文化遺産に指定されています。

この度、金峯山寺では七十年ぶりの大修理に仁王門及び仁王像の修復を発願いたしました。建立以来、たびたび修理を重ねて今日に至っておりますが、近年は永年にわたる山岳高所の風雨にさらされ、傷みも激しくなり、柱石が割れたり、創建当時の屋根瓦の劣化が止まらぬ状況となりました。仁王門のすぐ下をはしる県道に、その瓦が落下する危険性が日々高まってきており、急ぎ修復に向けての準備を進めている次第です。

この修復工事では瓦や木材などを可能な限り再利用し、劣化した瓦につきましても、粉砕後再度新たな瓦に焼直し使用して、先人の思いと財産を後世に伝えるべく計画中であります。

つきましては、ご本尊や先人への報恩に謝する大事業に、縁を繋いでご参加、協力を頂きたく、広く多くの方々にお願ひするところとなりました。

膨大な修理費用調達のため、何卒深いご理解を賜り、後世へ永く伝え守ることが出来ますように、ご支援賜りますことを切に願ひ申し上げます。

合 掌
金 峯 山 修 験 本 宗
総 本 山 金 峯 山 寺
国宝仁王門大修理実行委員会
国宝仁王門大修理事務局

- 二〇一八年(平成三十年)秋頃着手
- 二〇二八年頃 完成予定
- 総工費 二十億円(推定)

後世に伝えるため 皆様のご協力をお願いいたします。

ご協力方法

左側の振込み用紙をお使い頂きお振込みをお願いいたします。
尚、一口五千円とし、
ご寄付頂いた方には、記念品を郵送させていただきます。

02	大阪	払 込 取 扱 票										通常払込料金 加入者負担																													
口座		座		記		号		番		号		金 額		千		百		十		万		千		百		十		円													
0		0		9		2		0		9		3		0		8		7		9		6																			
加入者名		金峯山寺国宝仁王門大修理事務局																								金 額		※													
※		国宝仁王門大修理事業にご寄 付 致します(1口5,000円× 口)																								金 額		※													
ご 依 頼 人		おところ (郵便番号)																																							
おなまえ (フリガナ)																																									
性別		男 女																																							
生年月日		年 月 日																																							
T・S・H																																									
電話番号																																									
メールアドレス																																									
本払込票をもって領収証に代きさせていただきます。 領収証が必要な方は下記に印をおつけください。																																									
☐ 領収証 要																																									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょう銀行(承認番号大第46329号) これより下 には何も記入しないでください。)																																									

※振替用紙の記入は、楷書で丁寧にご記入下さい。
※連名ではお申し込みできません。一枚につき一名のご寄付となります。
※ご記入いただきました個人情報「金峯山寺国宝仁王門大修理事務局」よりのご案内以外のご用途には使用いたしません。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 9 2 0 9																通常払込 金加入者負担			
加入者名	金峯山寺国宝仁王門 大修理事務局																			
金 額	※																			
※	おなまえ																			
ご依頼人																				
日 附 印																				
料 金																				
備 考																				

この受領証は、大切に保管してください。

記載事項を訂正した場合は、その趣所に訂正印を押してください。

切り取らないでください。